

閉会挨拶（1月22日）

運輸総合研究所主席研究員・研究統括の藤崎です。閉会に当たり一言申し上げます。

まず、来賓の挨拶を頂いた、国土交通省の田中国際統括官、基調講演を行って頂いたスミス先生、パネルディスカッションに登壇頂いた、関西大学の宇都宮先生、モデレータも務めて頂いた東京大学の加藤先生、東日本旅客鉄道株式会社の會田様、株式会社日立製作所の我妻様に厚く御礼申し上げます。また、長時間にわたりご参加いただいた多数の皆様、そして当研究所の活動を支援いただいている日本財団に御礼を申し上げます。

さて、本日の第3回目のJTTRIグローバルセミナーは、いかがでしたでしょうか。終了後に参加者の皆様にアンケートを実施いたしますので、御回答記入に御協力頂けますよう、どうぞ宜しくお願いいたします。また、JTTRIグローバルセミナーの第4回目以降についても、皆様にとって有益なものになるよう今後企画して参るつもりです。

最後に、この場を借りて1点御報告致します。当研究所において、現在、地域交通産業、地域観光産業、モビリティとまちづくり、交通機関の脱炭素化・自動化、物流DXなどのテーマの下に、多数の共同研究調査を行っています。その際は、日本財団グローバル基金事業の一環としての欧州等の交通と観光分野の関係課題についての各調査研究を活用し、または有機的に連携しながら行っております。本日のセミナーでの御発表と御議論も参考に進めて参りたいと存じます。これらの主な成果は、節目の段階で、当研究所のセミナー等で報告発表する

ことを基本にしておりますが、中には専ら当研究所の広報誌で報告している成果もあります。その例として、「運輸総研だより」2023 春の第 6 号に掲載している「チェコ・スロバキア・ハンガリーの鉄道整備に関する調査」がございますことを御紹介しておきます。

私からは以上です。この後、事務局から今後の予定のお知らせがあります。

本日は、最後までご参加いただき、誠にありがとうございました。